

「臨床外科」 第34巻 総目次

1979年(第1号~第12号)

数字は通巻頁数, ()は号数を示す。

〔特集〕

ショックをめぐる新しい話題

血液ガスと酸塩基平衡の診かたと

対応……………岡田 和夫… 23(1)

血液連鎖反応系(凝固系, キニン

系, 補体系)の測定値とその

意味するもの……………隅田 幸男… 33(1)

術後敗血症からみた細菌性ショッ

クにおける嫌気性菌の問題

……………石引 久弥・相川 直樹

安藤 暢敏・篠沢洋太郎… 39(1)

心・血管系薬剤の選択と使い方…塩 沢 茂… 47(1)

ショック肺と呼吸管理

……………高 橋 徹・神納光一郎… 55(1)

Swan Ganz カテーテルの応用

元木 良一・井 上 仁・松井 隆夫… 63(1)

外科とエコー

超音波診断—歴史と展望—……………岡 益 尚… 157(2)

超音波診断—理論と実際—……………竹原 靖明… 161(2)

乳腺疾患

小川 博康・河村 哲雄・竹原 靖明… 175(2)

心臓—成人の心疾患, 特に弁膜症—

……………尾本 良三・横手 祐二… 183(2)

肝・胆道—手動接触複合走査によ

る—……………北村 次男… 195(2)

肝・胆道—高速断層像—

坂口 正剛・尾崎 俊彦・市田 文弘… 205(2)

脾 臓……………福田 守道… 215(2)

腎 臓……………渡 辺 洸・大 江 宏

齊藤 雅人・三品 輝男… 227(2)

成分輸血

成分輸血の理論と現状……………遠 山 博… 319(3)

成分輸血の実際<適応, 投与法,

臨床効果>

—赤血球輸血—……………二之宮景光… 325(3)

—血小板輸血—

……………許 俊 鋭・大谷 五良… 333(3)

—顆粒球輸血—……………下山 正徳… 341(3)

—血漿凝固因子からみた血液

成分製剤—……………大里 敬一・高 木 輝… 351(3)

血液成分の調製

—血液成分の分離法—……………白井 亮平… 359(3)

—血液成分の保存—……………湯浅 晋治… 367(3)

Elemental Diet

ED の特性と適応……………小越 章平・佐 藤 博… 457(4)

ED 投与方法の実際

小 山 真・相場 哲部・山岸 良男

吉川 和子・武藤 輝…………… 463(4)

消化器外科における ED

……………大柳 治正・浜野 武史

関田 幹雄・光野 孝雄… 471(4)

小児外科における ED

中條 俊夫・小 方 卓・橋都 浩平

横森 欣司・島田 宗洋・宮坂 勝之

吉武 克宏・三瓶 直子…………… 479(4)

ED か, Hyperalimentation か

岡 田 正・山 本 裕・坂本 嗣郎… 489(4)

外科と血管造影<読影のポイント, 鑑別のコツ>

腫瘍性病変と血管造影

……………平松 京一・成松 芳明… 593(5)

炎症性病変と血管造影

打田日出夫・黒田 知純・中村 仁信

吉岡 寛康・徳 永 仰・佐藤 正之

岡 村 純・中尾 量保…………… 611(5)

血管病変と血管造影

隈崎 達夫・本多 一義・西 川 博… 623(5)

腹部外傷と血管造影

山本 修三・茂木 正寿・相川 直樹

須藤 政彦・平松 京一・井戸 邦雄… 637(5)

出血と血管造影

石 川 徹・遠 藤 賢・徳田 政道

芦 田 浩・大山 行雄・築根 吉彦… 651(5)

これだけは知っておきたい手術の適応とタイミング

—注意したい疾患 45—

食道アカラシア……………平 島 毅… 783(6)

逆流性食道炎……………篠 福 哲彦… 789(6)

食道憩室……………遠 藤 光夫… 793(6)

(1)

食道静脈瘤……………出月 康夫… 797(6)

胃潰瘍……………武藤 輝一… 805(6)

＜いま内科では＞内科からみた胃潰瘍……………石 森 章… 809(6)

胃ポリープ……………中村 卓次… 813(6)

ストレス潰瘍……………西村 和夫… 819(6)

＜いま内科では＞ストレス潰瘍の治療……………並木 正義… 823(6)

Mallory-Weiss 症候群……………渡部 洋三・宮城 伸二… 827(6)

十二指腸潰瘍……………長尾 房大・青木 照明… 833(6)

＜いま内科では＞十二指腸潰瘍……………西 沢 護… 837(6)

Crohn 病……………白鳥 常男… 841(6)

＜いま内科では＞Crohn 病の治療……………笹 川 力… 845(6)

Blind loop 症候群……………小 山 真・畠山 勝義… 849(6)

癒着性イレウス……………脇坂 順一・溝手 博義… 857(6)

ベーチェット病……………馬場 正三・神 谷 隆… 863(6)

潰瘍性大腸炎……………土屋 周二… 869(6)

＜いま内科では＞潰瘍性大腸炎の治療……………吉 田 豊… 873(6)

大腸憩室症……………牧野 永城… 875(6)

大腸ポリープ, ポリポーシス……………今 充・村上哲之・大内清太… 881(6)

痔瘻・痔核……………小金沢 滋… 889(6)

肝血管腫……………葛西 洋一… 897(6)

肝内結石症……………菅原 克彦・河野 信博… 903(6)

急性胆嚢炎……………中山 文夫… 909(6)

胆石症……………佐藤 寿雄・高 橋 渉… 913(6)

＜いま内科では＞胆石症……………亀田 治男… 916(6)

急性膵炎……………宮崎 逸夫・小西 孝司… 919(6)

＜いま内科では＞急性膵炎の内科治療……………石井 兼央… 923(6)

慢性膵炎……………土屋 涼一・西村 柳介… 925(6)

＜いま内科では＞慢性膵炎の治療……………中澤 三郎… 929(6)

膵嚢胞……………水本 龍二・五島 博道… 931(6)

インスリノーマ……………伊 藤 漸… 935(6)

腹壁瘻痕ヘルニア……………村上 治朗… 939(6)

結節性甲状腺腫……………伊藤 国彦… 945(6)

下肢静脈血栓症……………阪口 周吉… 949(6)

下肢閉塞性動脈疾患……………三島 好雄… 955(6)

バセドウ病……………岩浅 武彦・降旗 力男… 959(6)

腹部大動脈瘤……………多田 祐輔・和田 達雄… 963(6)

脾腫と摘脾……………高 橋 豊… 963(6)

上皮小体機能亢進症……………藤本 吉秀・小原 孝男… 977(6)

腹腔内膿瘍……………秋田 八年・丸古 臣苗… 981(6)

心筋梗塞……………鈴木 章夫… 985(6)

＜いま内科では＞心筋梗塞症の治療……………延吉 正清… 991(6)

胸部大動脈瘤……………和田 寿郎・橋本明政・上原吉三郎… 993(6)

自然気胸……………益田 貞彦… 999(6)

＜いま内科では＞自然気胸の治療……………田村 昌士…1002(6)

巨大肺嚢胞症……………川 上 稔・仲 田 祐…1004(6)

重症筋無力症……………石川 創二…1009(6)

膿 胸……………飯 田 守・瀬在 幸安…1014(6)

気管支拡張症……………早田 義博・船津 秀夫…1023(6)

先天性肥厚性幽門狭窄症……………秋 山 洋…1027(6)

＜いま小児科では＞先天性肥厚性幽門狭窄症の治療……………加藤 英夫…1031(6)

停留嚢丸……………木 村 茂・友岡 康雄…1033(6)

＜いま泌尿器科では＞停留嚢丸の治療……………寺島 和光…1037(6)

腸重積症……………澤口 重徳…1039(6)

臍ヘルニア……………堀 隆・金子 道夫…1044(6)

Crohn 病とその辺縁疾患

鑑別の問題点

一臨床の立場から一

X線検査

西 沢 護・狩 谷 淳・小林 茂雄…1069(7)

大腸 Crohn 病の内視鏡診断

長 廻 紘・佐々木宏晃・三輪 洋子

長谷川かをり・谷口 友章…1081(7)

血管造影……………甲田 英一・平松 京一…1089(7)

一病理の立場から……………喜 納 勇…1099(7)

経過からみた治療の選択

一内科の立場から……………井上 幹夫…1111(7)

……………渡 辺 晃・樋渡 信夫…1117(7)

一外科の立場から一

村上 哲之・久保園喜堂・渡衛 修一

大久保英宇・今 充・大内 清太…1127(7)

一外科の立場から一

吉雄 敏文・柳田 謙蔵・大谷 忠久

片山 圭男・伊藤 三則…1135(7)

術中・術後の出血

出血を起こしやすい要因とそのチ

エック—開腹術を中心として—

……………林 四郎・石曾根新八
清水 公男・清水 幹男…1208(8)
臓器切除と出血—食道—

秋山 洋・宮 菌 光・鶴丸 昌彦
川村 武・樋上 駿・沢田 寿仁
池永 達雄……………1211(8)
—肺—……………米山 武志…1217(8)
—胃・十二指腸—
……………佐々木英制・水谷 哲夫…1225(8)
—直腸—……………安富 正幸・福 原 毅…1233(8)
—肝臓—……………岡本 英三・京 明 雄…1241(8)
—胆道—……………久次 武晴…1247(8)
—脾臓—……………水本 龍二・五島 博道…1255(8)
—脾臓—
都築 俊治・石田元比古・中 西 泉
平松 京一・磯部 義憲・毛 利 誠…1263(8)

手術と抗生物質

術後感染予防と抗生物質

由良 二郎・品川 長夫・石 川 周
高岡 哲郎・花井 拓美・松垣 啓司…1349(9)

手術と抗生物質の処方

—消化管手術—……………加藤 繁次…1355(9)
—胆道手術—……………志村 秀彦…1363(9)
—小児外科手術後感染症—
……………石井 哲也・横 山 隆…1369(9)
—術後肺合併症—
……………藤村 重文・仲 田 祐…1377(9)
—術後尿路感染症—……………名出 頼男…1385(9)
—術後敗血症—
相川 直樹・石引 久弥・篠沢洋太郎
山田 好則・山本 修三・茂木 正寿
須藤 政彦……………1391(9)
—嫌気性菌感染症—……………岩井 重富…1401(9)

特殊状態と抗生物質の選び方……………中山 一誠…1409(9)

多剤併用療法と問題点

……………石引 久弥・山田 好則…1417(9)

副作用からみた薬剤の選択

品川 長夫・花井 拓美・松垣 啓司
石 川 周・由良 二郎……………1423(9)

Opportunistic Infection

……………酒井 克治・藤本 幹夫…1431(9)

急性胆嚢炎の治療

急性胆嚢炎—診断上の問題点から

治療まで……………亀田 治男…1511(10)

手術のタイミング—私はこう考える—

—内科の立場から—

……………木村 郁郎・原田 英雄…1515(10)

—内科の立場から—

<特に超音波診断を中心として>

唐沢 英偉・三 木 亮・上野 高次
土屋 幸浩・税所 宏光・大野 孝則
大藤 正雄……………1519(10)

外科の立場から

伊藤 俊哉・谷口 晴幸・古井純一郎…1525(10)

外科の立場から……………長瀬 正夫・日笠 頼則…1531(10)

外科の立場から

西尾 剛毅・棚瀬信太郎・牧野 永城…1535(10)

外科の立場から

佐々木英制・近 藤 博・葛西 洋一…1539(10)

熱傷治療のトピックス

<EDITORIAL> 熱傷治療最近の動向

—Recent Trends in Burn

Treatment……………John F. Burke, MD…1655(11)

熱傷ショック期の治療

—新しい輸液療法; HLS と GIK—

……………島崎 修次・小 林 久
吉岡 敏治・杉 本 侃…1657(11)

—熱傷ショックの薬物療法—

吉岡 敏治・小 林 久・大橋 教良
澤田 祐介・杉 本 寿・杉 本 侃…1665(11)

熱傷の局所療法

—最新の局所療法剤—

……………木下 栄一・八木 義弘…1673(11)

—Biological Dressing と人工皮

膚……………難波 雄哉…1679(11)

—植皮のタイミングと実際—

……………井沢 洋平・青 山 久…1687(11)

熱傷後の全身性変化とその治療

—代謝の変化と栄養補給—

……………相川 直樹・石引 久弥
山本 修三・阿部 令彦…1693(11)

—重要臓器の障害とその治療—

石引 久弥・小林 米幸・入 久 巳
山本 修三・相川 直樹……………1699(11)

噴門部癌の特性と外科治療

診断上の問題点

—X線の立場から—

……………杉野 吉則・熊倉 賢二…1799(12)

—内視鏡の立場から—……………小黒八七郎…1807(12)

手術術式の選択

—到達法をどうするか: 左開胸開腹法—

古賀 成昌・岸本 宏之・西村 興亜

前田 迪郎·····	1816(12)
ー到達法をどうするか：胸骨縦切開ー	
片柳 照雄・粟根 康行・北村 正次	
伊藤 一二・昌子 正美·····	1821(12)
ーリンパ節郭清と切除範囲をどう	
するかー	
武藤 輝一・田中 乙雄・川口 正樹	
曾 我 淳・佐々木公一·····	1829(12)
ー再建法をどうするかー·····	岡山 邦雄··1838(12)
術後成績の検討·····	佐 藤 博··1845(12)
病理よりみた噴門部胃癌(腺癌)の特徴	
加 藤 洋・菅野 晴夫・中村 恭一··1851(12)	
〔カラーグラフ〕	
消化器内視鏡シリーズ<42>	
小腸悪性腫瘍·····	平塚 秀雄・後町 浩二·· 10(1)
内視鏡的色素シリーズ<1>	
食道癌·····	佐野 元哉·· 146(2)
内視鏡的色素シリーズ<2>	
食道炎ートリジンブルー・ヨー	
ド二重染色法を用いた食道ビ	
ラン潰瘍性病変の診断ー	
吉 田 操・林 恒 男・遠藤 光夫·· 306(3)	
内視鏡的色素シリーズ<3>	
胃 癌	
鈴 木 茂・村 上 平・橋本 忠美	
長谷川利弘・川田 彰得・鈴木 博孝	
榊 原 宣・遠藤 光夫·····	446(4)
内視鏡的色素シリーズ<4>	
腸上皮化生	
川井 啓市・井田 和徳・奥田 順一·· 590(5)	
Color Angiogram による PTC	
との併用法·····	渡 部 脩・前川 武男
宮川 忠昭・松本 俊彦·· 778(6)	
内視鏡的色素シリーズ<5>	
大腸ポリープ・大腸癌	
·····	多田 正大・川井 啓市··1058(7)
内視鏡的色素シリーズ<6>	
小腸色素内視鏡検査の応用	
平塚 秀雄・後町 浩二・飯塚 邦雄	
大坂 渥巳・橋爪 洋平・長谷川充輝··1190(8)	
内視鏡的色素シリーズ<7>	
胃の腺境界の読み··奥 田 茂・竜田 正晴··1346(9)	
癌の典型的内視鏡パターン<1>	
食道癌·····	井手 博子・遠藤 光夫··1498(10)
癌の典型的内視鏡パターン<2>	
食道癌の深達度診断	

小野澤君夫・鍋谷 欣市・本島 悌司··1642(11)	
癌の典型的内視鏡パターン<3>	
胃癌の典型的内視鏡像·····	高木 国夫··1786(12)
〔グラフ〕	
外科医のためのX線診断学<11>	
低緊張性十二指腸造影·····	大久保忠成·· 13(1)
外科医のためのX線診断学<12>	
経皮経肝性胆管造影法	
·····	兵頭 春夫・江里口健次郎·· 149(2)
外科医のためのX線診断学<13>	
注腸造影ー腫瘍ー·····	丸山 雅一·· 309(3)
外科医のためのX線診断学<14>	
注腸造影ー炎症ー	
·····	狩 谷 淳・西 沢 護·· 449(4)
外科医のためのX線診断学<15>	
心・大血管造影	
松山 正也・鈴木 豊・渡部 恒也	
栗林 幸夫・杉原 政美·····	1061(7)
外科医のためのX線診断学<16>	
胸部・頸部血管造影	
隈崎 達夫・西 川 博・佐藤 雅史	
鈴木 次夫·····	1193(8)
外科医のためのX線診断学<17>	
冠動脈造影	
小塚 隆弘・前田 宏文・菅原 徹雄	
西村 恒彦・太田 光重・内藤 博昭	
植原 敏勇·····	1501(10)
外科医のためのX線診断学<18>	
消化管血管造影·····	甲田 英一・平松 京一··1645(10)
外科医のためのX線診断学<19>	
肝血管造影·····	磯部 義憲・平松 京一··1789(12)
〔座談会〕	
ショックをめぐる新しい話題	
奥 秋 晟・黒 岩 宏・石 山 賢	
井 田 健・(司会)玉熊 正悦·····	72(1)
外科認定医制度を考える	
葛西 洋一・長尾 房大・牧野 永城	
(司会)和田 達雄·····	236(2)
Elemental Diet の実際	
加固 紀夫・大熊 利忠・谷 村 弘	
遠藤 昌夫・(司会)小越 章平·····	494(4)
急性胆嚢炎をどうするか	
吉岡 秀憲・野呂 俊夫・鈴木 範美	
中山 和道・後藤 明彦・岩 永 剛	
(司会)相 馬 智・牧野 永城·····	1544(10)
熱傷治療における controversy	

—私はこうしている—

八木 義弘・相川 直樹・青山 久

鶴 飼 卓・(司会) 難波 雄哉……1706(11)

〔鼎 談〕

＜再評価をふまえた＞抗生物質の

使い方

—手術と抗生物質投与の問題点—

……………松田 静治・名出 頼男

(司会) 中山 一誠……1440(9)

〔臨床研究〕

胃癌・胃肉腫重複についての考察

霞 富士雄・高木 国夫・加藤 洋

馬場 保昌・堀 越 昇・吉川 静……105(1)

下肢動脈閉塞性疾患における光電

式指先容積脈波の応用……………平井 正文……117(1)

術後急性胆嚢炎—本邦報告42例の

検討—

劉 崇正・田 紀克・奥山 和明

田辺 政裕・山崎 義和・林 良輔

陳 文夫・吉永 雅俊・佐々木 守……265(2)

血液透析用 A-V Fistula 作製法

の評価

蒲谷 堯・高 興弼・芳賀 陽子

芳賀 駿介・遠藤 久人・梶原 哲郎

坪井 重雄・小坂 実・月田 修二……269(2)

甲状腺癌における Thyroid Lym-

phogrophy の意義

……………後藤 勝也・堤 栄昭

葛西 森夫・的場 直矢……403(3)

膵嚢胞11例の手術経験

蔵田 裕彦・児 玉 求・佐々木伸博

福田 康彦・山根 修治・田中 一誠

松山 敏哉・田村 泰三・西亀 正之

土肥 雪彦・江崎 治夫……533(4)

顎下腺腫瘍の検討—自験16例を含

む本邦報告例について—

山下 健東・曾和 融生・冬広 雄一

北村 輝男・吉本 隆行・長山 正義

梅 山 馨……539(4)

われわれの処方した成分栄養の臨

床経験

大熊 利忠・井上 吉弘・後藤 平明

大塚 憲雄・多田 出・横山 育三……547(4)

胆嚢造影陰性(陽性)例における

Pharmacoangiography (Pro-

staglandin E₁ 使用) および

同時拡大撮影の検討

三好 敦生・野田 哲文・内藤 寿則

笠原 卓・内野 良彦・草場 盛雄

植木 敏幸・友 清 明・間野 正衛

山名 一有・中山 和道・古賀 道弘……703(5)

大動脈弓分枝疾患の外科的療法

—とくに頸動脈遮断時の内短絡法

について—

多羅尾 信・富田 良照・滝谷 博志

村瀬 恭一・広瀬 光男・稲田 潔……717(5)

最近の自然気胸—第一線病院にお

ける7年間56例の検討—

坪田 紀明・大山 正・窪田 秀夫

白川 勝・岡本 光人・吉江 哲夫

渡部 洋三……723(5)

大腸穿孔症例—特発性大腸穿孔と

diastatic perforation につ

いて—

鈴木 定雄・伊勢 重男・川口 吉洋

枅 一彦・有 壁 譲・渡辺 岩雄

荻野 博史・三浦 正則……727(5)

乳癌に対する卵巣摘出と副腎皮質

ホルモン、甲状腺ホルモンの

併用療法 (OCT ホルモン療

法) ……………中村 泰也……1159(5)

Limulus test からみた急性腹症

の臨床経過について

高場 利博・高尾 資朗・帆刈 睦男

神谷憲太郎・藤原 道夫・石井 淳……1297(8)

乳癌の Estrogen Receptor と臨床

との相関

青木 孝文・児 玉 宏・日笠 頼則

柏原 貞夫・倉本 信二・前谷 俊三

香川 嘉宏・田中 英夫・松 末 智

中村 義徳・山辺 博彦・市島 国雄……1303(8)

巨大胃潰瘍手術例の検討

……………江崎 昌俊・徳 永 剛

畑尾 正彦・高橋 勝三……1309(8)

膵頭十二指腸切除後早期の残存膵

機能—とくに P-S テストと

の対比を中心に—

日野原 徹・竹内 勤・岸 清志

岩井 宣健・西村 興亜・古賀 成昌

安達 秀雄……1313(8)

Endotoxin の変動からみた術後

経過について—とくに循環動

態の変化を中心にして—

高場 利博・帆刈 睦男・高尾 資朗
松 田 賢・前 田 洋・神谷憲太郎
藤原 道夫・石井 淳一……………1465(9)

高齢者の進行性甲状腺癌に対する

手術—特に食道合併切除につ

いて—

尾崎 修武・糸数 俊秀・中尾 守次
山本 文雄・中村 和夫……………1587(10)

体外循環下開心術における血球保

護剤としての Poloxamer 188

の臨床的評価

西 村 基・湯田 敏行・宮崎 俊明
田畑伝次郎・屋 良 勲・尼子 春樹……………1591(10)

シンチスキャンニングによる悪性

甲状腺腫の鑑別診断

三 村 孝・森 秀 樹・浜 田 昇
百溪 尚子・西川 義彦・伊藤 国彦
東 与 光・石井 勝己……………1599(10)

前脛骨区画症候群12例の検討

伊藤 勝朗・生駒 義人・堤 嶋 正
山本 文雄・須江 秀一・中村 和夫……………1739(11)

術後急性腎不全時における自由水

クリアランスの意義

上甲 幸夫・玉木 芳郎・豊山 文雄
清水 英範・藤石 慎二・木 村 茂……………1745(11)

閉塞性黄疸患者の Hyperdynamic

な循環に関する臨床的検討

斉藤 英昭・玉熊 正悦・磯 山 徹
杉浦 有重・浅 野 哲・山本 登司
近藤 良精……………1877(12)

総胆管切開適応因子の検討—「林

の数量化第Ⅱ類」による判別

分析

河 野 保・川 崎 繁・鈴木 豊
三品 寿雄・平尾 雅紀・森谷 尚行
畑中 恒人……………1883(12)

尺骨動脈閉塞と指血行障害

平井 正文・河合 誠一・塩野谷恵彦……………1889(12)

[臨床報告]

胸腔内甲状腺腫の4症例

速水 四郎・長谷川晴彦・高 本 滋
中神 信男・石川 覚也・福 田 巖
古 田 環・竹内 栄二・鈴木 裕
山内 晶司・宮田 完志・宇仁田 卓
宇 野 裕・鈴木 幸三……………123(1)

乳房の顆粒細胞性腫瘍の1例

森本 忠興・北村 宗生・角田 悦男
小 柴 康・園尾 博司・藤原 晴夫
長 崎 彬……………129(1)

Gardner 症候群の1治験例

飛鋪 修二・斉藤 英夫・中 村 達
小林 武夫・菅 家 透・野本信之助
梅 園 明……………275(2)

純型肺動脈閉鎖症の1経験例

土屋 幸治・保浦 賢三・副島 健市
飯田 良直・金田 吉男……………281(2)

原発性腸間膜血管肉腫の1例

山本 誠己・勝部 有二・奥 勝 次
浦 伸 三・勝見 正治・宇多 弘次……………285(2)

両側頸動脈分岐部動脈瘤の1例

酒井 圭輔・久保田 宏・黒 田 広
村上 忠司・相川 久志・真銅 良吉
伊藤 直樹・青木 幸範・佐藤 英俊……………291(2)

S 状結腸に穿通破裂した腹部大動

脈瘤の1例

田近 徹也・蜂須賀喜多男・北島正是
津田 峰行・松 浦 豊・中神 一人
太 田 敬・梶田 正文……………407(3)

比較的若年者にみられた同時性、

異時性多発性動脈瘤の1例

松 岡 潔・三原 康生・伊藤 保憲
数 野 博・池田 敏夫・岩田 克美
徳岡 裕文・溝淵 正行・万代 矩之
納 所 実・野村 修一……………411(3)

Celiac Artery Comprssion Syn-

drome と思われる1症例

……………瀬尾 洋介・古澤元之助
原 泰 寛・田 中 誠……………417(3)

呼吸管理を併用し救命し得た新生

児肝破裂の1例

奥川恭一朗・伊藤 喬広・杉藤 徹志
長屋 昌宏・新実 紀二・山 田 昂
幅 光 正・石黒 士雄・古川 博通
鈴 木 裕・津田 峰行・弥政洋太郎……………421(3)

化骨性脂肪腫の1例

佐々木寿昭・阿部 重郎・西村 興亜
安達 秀雄・古賀 成昌……………427(3)

穿孔を起こした空腸神経鞘腫の1

例

中村 憲治・栄 康 行・小林 征二
上田 祐造・半田 祐彦……………431(3)

直腸癌手術時に発見された空腸ク

ローン病の1例

伊藤 誠司・村上 哲之・原田 正夫
唐 牛 忍・森田 隆幸・今 充… 555(4)

緊急手術で救命しえた特発性血気

胸の1症例

岩崎 一教・高 尾 健・西村 正也… 561(4)

胃の腺癌と平滑筋肉腫の衝突腫瘍

の1例

磯 本 徹・佐野 開三・重本 弘定
遠藤正三郎・堀谷 喜公・山本 康久
青 山 栄・小堀 迪夫… 565(4)

頭蓋外内頸動脈瘤の1治験例およ

び本邦報告例の検討

中山 富太・細田 泰生・野並 芳樹
江里 健輔・八牧 力雄・藤原 茂芳… 571(4)

残胃にみられた早期癌

三輪 晃一・山 岸 満・石黒 信彦
山崎 軍治・宮崎 逸夫… 733(5)

胃グロームス腫瘍の1手術例

一本邦報告例の統計的観察一

木 村 修・田中 公晴・井 上 淳
竹田 力三・川口 広樹・藤 井 卓
岸本 宏之・安達 秀雄… 739(5)

結腸エンドメトリオージスで腸閉

塞をきたした1例

石原 歳久・大原 敬二・山 崎 東
翁 伯 東・富田 一郎・綿 貫 喆… 745(5)

長期生存をみた直腸細網肉腫の1

例

成末 允勇・大崎 俊英・香川 茂雄
高倉 範尚・石 川 純・坂本 昌士
田中 早苗・湊 宏 司・中 川 潤… 749(5)

左総腸骨動脈閉塞手術に伴う前脊

髄動脈症候群の1例と文献的

考察

古田 凱亮・折井 正博・島津 元秀
小谷野憲一・亀 田 正・阪口 周吉… 753(5)

ペースメーカー植込み後の皮膚の圧

迫壊死により生じた敗血症

小野寺栄司・鈴木 隆三・城 田 裕
鈴木 章夫・中田八洲郎… 759(5)

直腸狭窄を伴った直腸クローン病

……………谷 村 晃・山口 達夫
吉田 正樹・溝部 正夫…1165(7)

腹壁腫瘤を形成したアニサキス症

の1例

松木 伸夫・有賀藤一郎・土原 一弘
古 川 信・小 坂 進……………1169(7)

平滑筋肉腫により空腸・回腸間に

内瘻を生じた1例

宮野 陽介・竹田 力三・木 村 修
川口 広樹・田中 公晴・安達 秀雄
岸本 宏之……………1173(7)

閉鎖孔ヘルニアの1例

……………山形 尚正・杉山 雄一
上 田 博・鈴木 康紀…1319(8)

急性全身性激症型輸入アメーバ症

の1例

須江 秀一・伊藤 勝朗・生駒 義人
岡野 一廣・原 宏・山根 洋右
山崎 郁雄……………1321(8)

Cronkheit-Canada 症候群の1例

松本 好市・福西 茂二・古 屋 正
油田 絃邦・山際 裕史……………1325(8)

Flail chest を伴った外傷性横隔

膜ヘルニア

……………児玉 啓介・浅野 孝治
杉山 長毅・尾崎 修武…1471(9)

上腕動脈外膜囊腫

伊藤 勝朗・梶 嶋 正・則武 正三
河田 知啓・中村 和夫……………1475(9)

結核による十二指腸狭窄の1例

伊 藤 実・恵美 奈実・伊藤 昭敏
福本 育郎・宮地 英夫・由良 二郎
柴田 清人・林 活 次……………1481(9)

ATP として5年間経過観察した

広範囲早期胃癌について

山下 正洋・小 坂 進・小西二三男
沢武 紀雄・松原 藤継……………1605(10)

残胃に発生したI型早期胃癌の1

例

前 田 淳・井口 孝伯・飯田 龍一
朝戸 末男・糟 谷 忍・草 野 佐
御子柴幸男……………1611(10)

上大静脈症候群を呈した、胸腔内

甲状腺より発生した Hürthle

Cell Adenoma の1例

渡部 幹夫・城 田 裕・柿田 紀男
鈴木 章夫・阿部 博幸・須田 耕一…1615(10)

25年間の長期にわたって存在した

腹部パラガングリオーマ

谷村 晃・山口 達夫・有田 毅	1621(10)
十二指腸脂肪腫の1例	
友田 信之・中島 一博・中村 徹	
松永 章・小西 昌三・富田 直昭	
神谷 雄二・中村 康寛・中山 和道	1625(10)
膝窩動脈破裂を伴った膝窩動脈外	
膜嚢胞の1例	
西沢 直・鈴木 一郎・松沢 邦夫	1757(11)
VATER association の1例	
友岡 康雄・宝道 勝・中村 資朗	
高島 成光・林 正泰	1761(11)
外傷性腹部大動脈一下大静脈瘻一	
武藤 庸一・森山 正明・古山 正人	
牧野 純造・家守 光雄・草場 昭	
井口 潔	1893(12)
巨大潰瘍を形成した胃アニサキス	
症の1例	
草島 義徳・片山 外一・小島 靖彦	
吉村 裕之・近藤力王至	1897(12)
腸間膜腫瘍を思わしめた腸結核の	
1例	
野浪 一道・内田 満国・笹原 寅夫	
石原 信彦・上塚 高弘・須古 修二	1901(12)
〔手術手技〕	
経回結腸静脈胃・食道静脈瘤閉塞	
術	
植田 俊夫・磯部 義憲・筒井 竹人	
青木 幸範・安藤 正英・石橋 武彦	685(5)
食道再建用胃の作製規準	
秋山 洋・宮 蘭 光	
鶴丸 昌彦・川村 武	695(5)
癒着性腸閉塞症に対するわれわれ	
の Noble 術式変法	
小林真佐夫・松川 泰廣・山口 孝之	
倉科 彰夫・増田 和人・倉塚 均	1751(11)
〔外科医の工夫〕	
“松葉ゾンデ”による経十二指腸	
乳頭括約筋形成術	菱田 泰治 1721(11)
〔Spot〕	
“ショック”で最近考えること	岡田 和夫 89(1)
Elemental Diet: その歴史と展	
望	酒井 忠照 509(4)
外科手術施行前における2次診断	
制度の重要性について	
松元 輝夫・草場 昭	1269(8)
米人 resident のみた日本の外科	

卒後研修 一九大第2外科で	
の3カ月の研修を通して一	
David Pollack・草場 昭 翻訳	1457(9)
ハリ麻酔の可能性と限界 一脳外	
科手術症例の検討一	許 瑞 光 1561(10)
〔Topics〕	
肝腫瘍に対する凍結療法	蔵本新太郎 261(2)
血漿交換	二之宮景光 377(3)
〔Practical Postgraduate Seminar〕	
急性腹症一腹部単純X線による診	
断くその2>	山本 修三・須藤 政彦 250(2)
外科医に必要な小児外科の実践	
堀 隆・横森 欣司・野沢 博正	396(3)
老人の手術一これだけは注意した	
い術前・術後管理一	
橋本 肇・山城 守也	524(4)
基本的手術手技一メスと鉗の使い	
方一	樋上 駿・池永 達雄 250(2)
基本的手術手技一糸結び一<その	
1, 片手法>	
樋上 駿・沢田 寿仁・池永 達雄	1277(8)
基本的手術手技 一糸結び一<そ	
の2, 両手法>	
樋上 駿・沢田 寿仁・池永 達雄	1569(10)
外科外来における処置と小手術の	
ポイント一その1一	
池永 達雄・樋上 駿・沢田 寿仁	1861(12)
〔Emergency Care-Principles & Practice〕	
救急医療の実施にあたって注意し	
たいこと	川嶋 望 515(4)
救急医療に必要な基本的技能と知	
識一(その1)採血と注射一	
川嶋 望・前田 滋・井川 智仁	666(5)
救急医療に必要な基本的技能と知	
識一(その2)各種穿刺・初	
期呼吸管理一	
川嶋 望・馬場 尚道・米倉 正大	1150(7)
救急医療に必要な基本的技能と知	
識一(その3)初期循環器管	
理一	
川嶋 望・馬場 尚道・伊藤新一郎	
和尾 和彦・前田 滋	1289(8)
救急蘇生	
川嶋 望・馬場 尚道・前田 滋	1579(10)
ショック一(その1)ショックの	
考え方一	

川 嶋 望・馬場 尚道・前 田 滋・1730(11)
 ショックー (その2) ショックの
 本態・生体反応と治療のかか
 わりー……………川 嶋 望・1868(12)

〔講 座〕

皮膚縫合の基本<11>
 陳旧創に対する処置……………波利井清紀・ 98(1)

皮膚縫合の基本<12>
 トラブルを起こしやすい創の
 処置……………波利井清紀・ 386(3)

〔書 評〕

秋田八年・他 編著「ベッドサイ
 ドの外科学」……………相 馬 智・ 70(1)

木戸長一郎 編「胸腹部腫瘍の放
 射線診断」……………松浦 啓一・ 94(1)

杉江三郎・田辺達三 著「静脈疾
 患」……………三島 好雄・ 94(1)

Alpert, J. S., & Francis, G.S. 著
 春見・森本・森島 訳「CCU
 マニュアル」……………上田 英雄・ 95(1)

木戸長一郎 編「胸腹部腫瘍の放
 射線診断」……………白壁 彦夫・ 160(2)

柏木哲夫 著「死にゆく人々のケ
 アー末期患者へのチームアプ
 ローチ」……………布施 徳馬・ 171(2)

D. M. Behrendt, W. G. Austen
 著 森本和大・他 訳「心臓
 外科チームのための患者管理
 の実際<改訂第2版>」……………麻 田 栄・ 225(2)

澤田藤一郎・柴田 雄蔵 著「黄疸」
 ………………市田 文弘・ 259(2)

Craven, Lumley 著, 鰐渕・熊野
 ・武藤訳「MCQ 外科問題集」
 ………………堀 原 一・ 332(3)

山下英秋 著「Roentgenologic
 Anatomy of the Lung」……………池田 茂人・ 340(3)

澤田藤一郎・柴田雄蔵 著「黄疸」
 ………………上田 英雄・ 375(3)

河合 忠・高月 清 著「免疫グロ
 ブリンと高免疫グロブリン血
 症」……………内野 治人・ 382(3)

杉江三郎・田辺達三 著「静脈疾
 患—その病態と臨床」……………阪口 周吉・ 514(4)

H. Sarles, A. Gèrolami 著, 中
 村耕三・吉村正喜 訳「要説
 脾・胆道病学」……………石井 兼央・ 514(4)

武藤輝一・相馬 智編集「標準外科学
 <第2版>」……………岡島 邦雄・ 515(4)

McDonald・他著, 野村武夫 訳
 「血液学アトラス」……………内野 治人・ 563(4)

武藤輝一・相馬 智 編集「標準
 外科学<第2版>」……………葛西 洋一・ 649(5)

日野原重明 著「医療と教育の刷
 新を求めて」……………相澤 豊三・ 661(5)

H. Sarles, A. Gèrolami 著, 中
 村耕三・吉村正喜 訳「要説
 脾・胆道病学」……………土屋 涼一・ 662(5)

H. C. Churchill-Davidson 編
 「A Practice of Anaesthesia」
 ………………稲 田 豊・ 684(5)

G. A. McDonald・他著, 野村武
 夫 訳「血液学アトラス」……………市丸 道人・ 694(5)

竹本忠良・春日井達造 編集
 「Endoscopic Retrograde Cho-
 langiopancreatography<英文
 版>」……………久保 勝彦・763(5)

高田忠敬 著「図解 経皮的胆管
 ドレナージ」……………大藤 正雄・1080(7)

武藤輝一・相馬 智 編集「標準
 外科学<第2版>」……………折田 薫三・1109(7)

竹本忠良・春日井達造 編集
 「Endoscopic Retrograde
 Cholangiopancreatography
 <英文版>」……………並木 正義・1145(7)

D. M. Behrendt, W. G. Austen
 著, 森本・鰐渕・尾本 訳「心
 臓外科チームのための患者管
 理の実際<改訂第2版>」……………三枝 正裕・1145(7)

J. S. Alpert, G. S. Francis 著,
 春見・森本・森島 訳「CCU
 マニュアル」……………木村 栄一・高野 照夫・1146(7)

葛西洋一・佐藤寿雄・土屋涼一 著「肝・胆・
 脾の外科臨床」……………亀田 治男・1261(8)

日野原重明 著「医療と教育の刷
 新を求めて」……………谷 莊 吉・1275(8)

葛西洋一・佐藤寿雄・土屋涼一 著「肝・胆・
 脾の外科臨床」……………武藤 輝一・1296(8)

尾山 力・恩地 裕 編「ショッ
 クハンドブック」……………麻 田 栄・1416(9)

御旅屋寛一 著「薬動力学入門」
 ………………加藤 隆一・1422(9)

H. H. Fudenberg・他 著, 柿沼

光明・板倉克明・訳「免疫遺
 伝学入門<原著第2版>」・藤井源七郎・1474(9)
 平松慶博・河野 敦・広沢邦浩 著「腹部 CT
 スキャンの読み方」……………田 坂 皓・1485(9)
 林 貴雄 著「消化管内視鏡ハン
 ドブック」……………並木 正義・1514(10)
 林 貴雄 著「消化管内視鏡ハン
 ドブック」……………三宅 健夫・1543(10)
 C. M. McGuire・他編 植村研
 一 監訳「クリニカル・シミ

ュレーション—診療能力向上
 のための新しい学習法—」・岩 崎 栄・1586(10)
 草間 悟 監修「外科診療指針」
 ……………葛西 洋一・1590(10)
 石川恭三 編集「新心臓病学」・春見 建一・1725(11)
 R. D. Abrams 著, 吉森正喜 訳
 「がん患者の心 —世話をする
 人々への指針—」……………相 馬 智・1743(11)
 福田 保・橋本義雄 編集「外科
 解剖(6)四肢」……………小野 啓郎・1882(12)